

分銅の種類と特徴のご紹介



YouTube紹介動画

分銅の種類と特徴のご紹介



<https://youtu.be/dCSdoSgyJYU>

目次

目次	1
1 はじめに	2
1-1 分銅とは？	2
1-2 分銅とおもりの違い	2
2 分銅の形状による種類と特徴	3
2-1 円筒分銅	3
2-2 円盤分銅	3
2-3 増しおもり型分銅	4
2-4 ニュートン分銅	4
2-5 枕型分銅	4
2-6 板状・線状分銅	5
2-7 フック付き・環付き分銅	5
2-8 大型分銅	5
3 おわりに	6

1 はじめに

分銅をご存知ですか？

古くから使われている分銅ですが、意外と知られていないのが分銅です。

そこで、分銅の種類や特徴について、ご紹介します。

1-1 分銅とは？

分銅とは、秤(はかり)で物の重量をはかるとき、重量の標準として用いるおもりです。

昔は、法馬(ほうま)・ふんどんとも呼ばれていました。

ステンレスなどの金属製で、円筒型や円盤型・枕型など様々な形があります。

分銅の一般的な用途としては、はかりの点検や検査、またキャリブレーション(調整)などに使われます。



1-2 分銅とおもりの違い

分銅は、公称値が1g、2g、5g、10g、20g、50g・・・の系列にあるものをいいます。

その規定を外れるものが「おもり」です。

また、分銅は、物理的及び計量的特性、すなわち形状、寸法、材料、表面性状、公称値及び最大許容誤差に関して規定されています。

分銅は、公称値が1g、2g、5g、10g、20g、50g・・・の系列にあるものをいいます。
その規定を外れるものがおもりです。



代表的な分銅の形状による主な種類は、

・円筒分銅、円盤分銅、増しおもり型分銅、ニュートン分銅、枕型分銅、板状・線状分銅、フック付き・環付き分銅、大型分銅などです。

各種分銅



それでは、それぞれの種類の分銅の特徴をご紹介します。

2-1 円筒分銅

円筒分銅は、一般的に広く知られている分銅です。

円筒分銅には、国際法定計量機関(OIML)の勧告に準拠したOIML型と従来から日本国内で一般的に使われている基準分銅型があります。

分銅の質量は、1g～20kgまで、幅広く用意されています。

円筒分銅



2-2 円盤分銅

円盤分銅は、ズレ防止の段や溝付きで、安定感があり、複数個積み重ねることができます。

分銅を複数個使用して行うはかりの再現性、直線性、その他、校正・調整・検査に最適です。

質量としては、10g～5kg、材質としては、非磁性ステンレス製・黄銅クロムメッキ製、鉄塗装製があります。

円盤分銅



2-3 増しおもり型分銅

増しおもり型分銅は、吊り下げ式はかりの質量測定の校正に使います。
円盤分銅同様、ズレ防止の段・溝付きで安定感があり、複数個積み重ねることができます。
質量としては、10g～5kg、材質としては、非磁性ステンレス製・黄銅クロムメッキ製があります。
また、ステンレス製の増しおもり型分銅用受台も用意されています。

増しおもり型分銅

非磁性ステンレス製



黄銅クロムメッキ製



増しおもり型分銅用受台



2-4 ニュートン分銅

ニュートン分銅は、力の国際単位であるニュートン(N)に質量を合せた分銅です。
増しおもり型分銅同様、ズレ防止の段・溝付きで安定感があり、複数個積み重ねることができます。
質量としては、0.1N～200N、材質としては、非磁性ステンレス製・黄銅クロムメッキ製があります。

ニュートン分銅

非磁性ステンレス製



黄銅クロムメッキ製



ニュートン分銅用受台



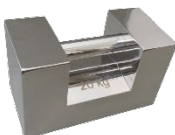
2-5 枕型分銅

枕型分銅は、ひょう量が大きなはかりの校正に適しています。
把手がついて持ち運びやすく、積み重ねも簡単に行えます。
質量としては、500g～20kg、材質としては、非磁性ステンレス製・ステンレス製・鋳鉄製が用意されています。

枕型分銅

非磁性ステンレス枕型分銅

鍛造



鋳造



ステンレス枕型分銅

鋳造



鋳鉄製枕型分銅



単品用アルミケース

積み重ね



2-6 板状・線状分銅

板状・線状分銅は、500mg以下の分銅でミリグラム単位の精密さを求められるはかりの校正・調整・検査に適しています。

OIML型の非磁性ステンレスの板状分銅・線状分銅と基準分銅型の非磁性ステンレス・洋銀・アルミの板状分銅があります。

板状・線状分銅



2-7 フック付き・環付き分銅

フック付き・環付き分銅は、円筒分銅などに吊り下げ用のフックや環を取り付けた特殊な用途に使われる分銅です。

吊り下げ加重用(引張荷重)や検定所等での吊り下げバネはかりの使用・検査に最適です。質量としては、100g～20kg、材質としては、非磁性ステンレス製が用意されています。

フック付き・環付き分銅



2-8 大型分銅

大型分銅は、ひょう量が非常に大きなはかりの校正に適しています。

クレーンやフォークリフトなどでの取り扱いが楽です。

また、四角型は、積み重ねが容易にできます。

質量としては、50kg～1000kg、材質としては、ステンレス製・鋳鉄製が用意されています。

大型分銅



これで、「分銅の種類と特徴のご紹介」を終わります。
 詳細は、「分銅専門ショップ」のサイトをご覧ください。

<https://www.shopkinos.com/fundou/>

はかりの点検・検査に必須な分銅や関連用品の販売 及び 分銅のJCSS校正



**工場より直接仕入れで流通マージン大幅カット！
 常識破りのスーパープライスをお確かめ下さい。
 販売価格は、わかりやすい税込み表示。**

分銅専門ショップは、はかりが正確に計量できているか点検・検査するのに必須な分銅や関連用品を販売しております。
 また、分銅のJCSS校正サービスも行っております。

2022/10

計量計測の新時代を開く

<https://digikinos.com/>



shopkinos.com はかり・分銅専門ショップ

最新のBluetooth付きはかりや活用システム、点検・検査に必須な分銅や関連製品など、shopkinos.comで取り扱っている商品やサービスを総合的に紹介しているサイトです。計量に関する最新情報が満載ですので、是非ご覧ください。

<https://shopkinos.com/>



本書の無断複写複製(コピー)及び内容の転載を禁止します。

2022/11

有限会社 デジタル工房Kinoss

194-0032 東京都町田市本町田1369-9

TEL: 042-810-5198

Email : info@digikinos.com